

[平成19年11月6日 (火)]

美しい森林づくりニュース 〈NO. 46〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～

発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel：03-3502-8111（内線6216）03-3501-3845（直通）Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82
バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ “この地球の未来を潤すみどりの力”（大会テーマ）

－ 「第31回全国育樹祭」を熊本県阿蘇市で開催 －

11月4日(日)、熊本県阿蘇市「阿蘇みんなの森」において、「第31回全国育樹祭」が、全国から約6,000人の参加者の下、盛大に開催されました。



県内外から多くの参加者を招いて開催

熊本県は、県土の6割を森林が占め、豊かな森林とそこから生み出される清らかな水を県民共有の財産として将来にわたって保全し、健全な状態で次の世代に引き継いでいくための「水とみどりの財産づくり」を県政の重要な柱として位置づけており、各方面とパートナーシップを組み合わせながら、森林との共生を目指し社会全体で森林を支えていくための取組を進めています。



主催者挨拶をする潮谷義子熊本県知事

そこで、この取り組みを一層推進し全国に向けて発信することにより、一人ひとりが森林を守り育て活力ある健全な森林をつくりあげていくという気運を盛り上げていくことを目的に今回の育樹祭が開催されました。

（第31回全国育樹祭）

式典の前には、昭和60年5月開催の「第36回全国植樹祭」において、昭和天皇がお手植えされたスギの木を皇太子殿下にお手入れいただきました。

式典は、緑の少年団の入場行進に始まり、主催者挨拶の後、皇太子殿下よりおことばをいただきました。



皇太子殿下によるスギのお手入れ

また、全国緑の少年団活動発表大会入賞団体、全国育樹活動コンクール入賞者、「ふれあいの森林づくり」優良市町村等、熊本県緑化等功労者のそれぞれの代表者が表彰されました。



緑の少年団代表にクスノキの苗木を贈呈し、美しい森林づくりの声掛けを行う緑化推進連絡会議議長（若林農林水産大臣）

引き続き行われたみどりの贈呈では、緑化推進連絡会議議長（農林水産大臣）から全国緑の少年団代表、森林ボランティア団体代表に対して、クス

ノキ、ヒノキ、イチョウ、スギ、イチイガシの苗木が贈られました。

来年の「第32回全国育樹祭」は、愛媛県において開催予定です。

◎ 第4回農林水産省「美しい森林づくり推進国民運動」推進本部を開催

2日(金)、農林水産省内会議室において、第4回農林水産省「美しい森林づくり推進国民運動」推進本部が開催されました。



森林づくりに関するグッズ・パネルを展示し開催

会議では、これまでの取組状況をレビューし、今後は国民運動を全国に広げるため、全国各地で設立が進んでいる民間主導の推進組織をネットワーク化して、国民各層への定着を図り、各取組による具体的な成果を築きあげていくことが確認されました。

また、森林の問題は、本年12月に開催されるCOP13(国連気候変動枠組み条約締約国会議)において主要議題になる見込みであるなど国際的にも注目されていることから、地球温暖化防止にかかる森林吸収源対策として、農林水産省は引き続き率先して「美しい森林づくり推進国民運動」を推進していくことが確認されました。



庁舎内の木質化や事務用品の木製品化など身の回りから取組を徹底するよう指示する若林大臣

詳しくは → http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/071102_1.html

○ 11月は「間伐推進強化期間」です！

“間伐でつくろう美しい森林”

森林はCO₂を吸収します。間伐は健全な森林を育てます。



※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>